

経営比較分析表（令和6年度決算）

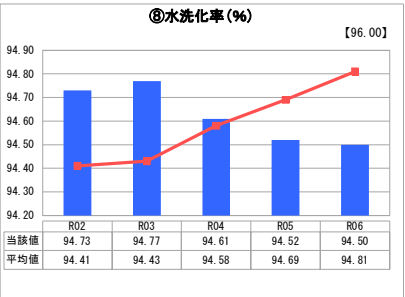
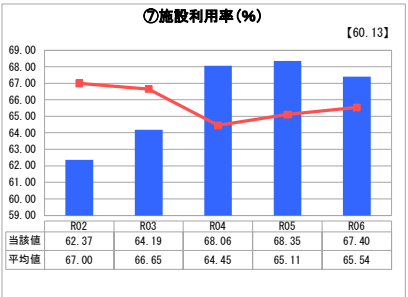
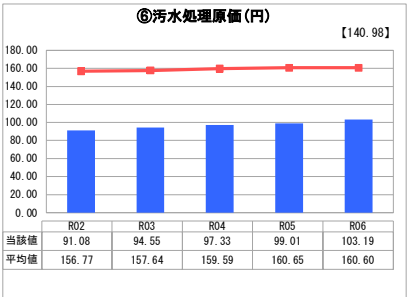
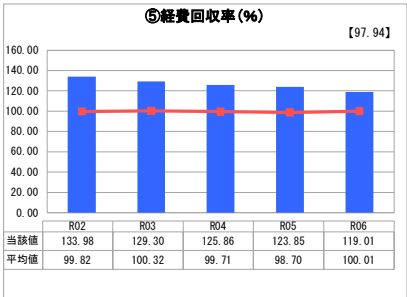
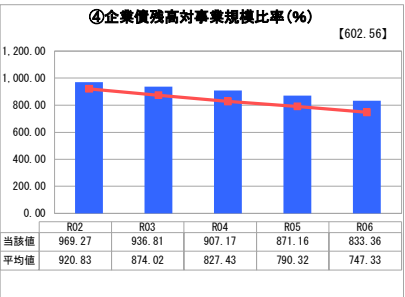
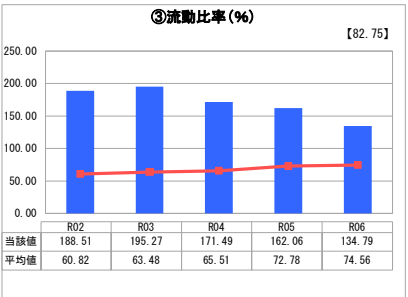
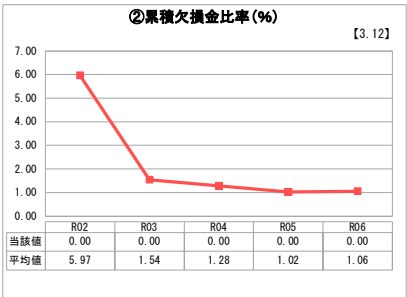
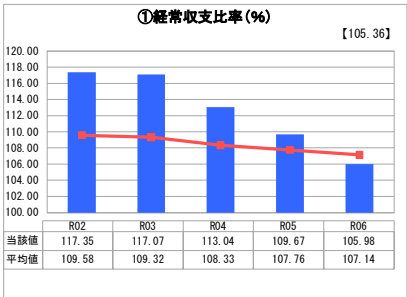
群馬県 高崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.43	74.50	86.61	2,173

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
365,972	459.16	797.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
271,656	66.64	4,076.47

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は毎年100%を超えており、維持管理費用の削減に取り組んでいることなどから、経営改善の成果が表れていると考える。

流動比率は毎年100%を超えており、支払能力は高いと言える。

企業債残高対事業規模比率は、企業債残高が減少傾向にあることなどから、今後下がっていくものと考えている。

経費回収率は100%を超えており、経費は十分回収できていると考える。

汚水処理原価は類似団体の平均を大きく下回り、効率的な汚水処理が実施されていると考える。

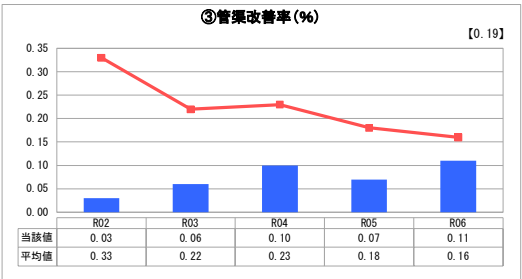
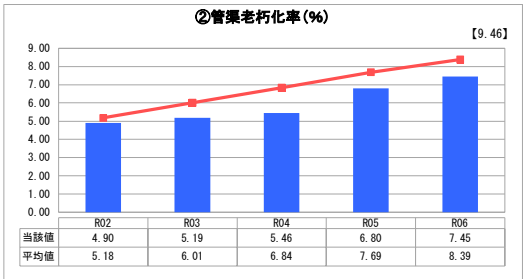
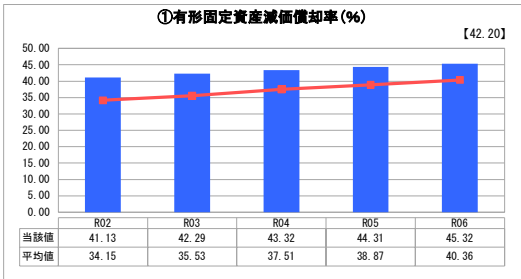
施設利用率は、前年度と比較して減少している。本市の汚水排除方式は合流式を含むために、天候、降雨量等に左右されるが、類似団体平均値よりも高い数値となっており、効率的に施設が運用されていると考えている。

水洗化率は類似団体と比べ、低い値となっており、より一層の普及促進の取組と効率的な管渠の整備が必要と考える。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率が増加傾向にあるが、管渠改善率も増加傾向にあることから、今後もストックマネジメント計画にのっとり、引き続き管渠等の更新工事を実施していく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

近年、人口の減少や節水型機器の普及などにより、水需要の大きな伸びを期待することは難しい状況にある。

また、管渠や処理施設の老朽化及び物価の高騰等により、今後、修繕や更新に係る費用が増大することが考えられる。

こうした状況のなか、サービスを維持しつつ、未普及地域の解消のための管渠整備事業も引き続き実施していくため、より一層の経費削減に努めるとともに、事業の統合の検討等、経営の効率化を高めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。